

問1 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 廃仏毀釈 2. 禁教政策 3. 修学旅行 4. 鎖国政策

問2 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 織田信長 2. 武田信玄 3. 徳川家康 4. 豊臣秀吉

問3 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 今川義元

問4 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 相模 2. 甲斐 3. 越後 4. 駿河

問5 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？

1. 1575年 2. 1582年 3. 1600年 4. 1590年

問6 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. イエズス会 2. プロテスタント 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問7 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 門前町 2. 港町 3. 宿場町 4. 城下町

問8 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 今川氏 3. 朝倉氏 4. 浅井氏

問9 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？

1. 楽市・楽座 2. 兵農分離 3. 太閤検地 4. 御成敗式目

問10 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問11 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武将は誰？

1. 明智光秀 2. 徳川家康 3. 羽柴秀吉 4. 織田信長

問12 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 武家諸法度 4. 分国法

問13 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？

1. 川中島の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 関ヶ原の戦い 4. 長篠の戦い

問14 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 南蛮貿易 3. 遣唐使 4. 日明貿易

問15 戦国大名が、領国内での勝手な勢力拡大を防ぐために制限した行為を何という？

1. 刀狩 2. 検地 3. 兵農分離 4. 築城

問16 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？

1. 武家諸法度 2. 公事方御定書 3. 分国法 4. 御成敗式目

答え合わせ・解説

問1	答え 2 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。
問2	答え 1 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問3	答え 4 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問4	答え 3 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問5	答え 2 1582年	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。しかし、その最中の6月、信長が京都の本能寺で重臣・明智光秀に裏切られ、自害するという劇的な事件が起こりました。この年を境に、戦国の勢力図は塗り替えられることとなりました。
問6	答え 1 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問7	答え 4 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問8	答え 3 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問9	答え 1 楽市・楽座	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。これは、市場から座の特権を廃止し、通行税（関所税）の廃止なども併せて行うことで、誰でも自由に商売ができるようにする政策です。
問10	答え 2 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問11	答え 3 羽柴秀吉	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。秀吉は驚異的な速さで引き返し、山崎の戦いで光秀を破りました。この勝利により、秀吉は織田政権内での影響力を圧倒的なものにしました。
問12	答え 4 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問13	答え 1 川中島の戦い	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。特に第4回目の戦いが最も激戦だったとされており、両軍合わせて多くの犠牲者を出しました。互いに実力を認め合うライバル同士の戦いとして有名です。
問14	答え 2 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。
問15	答え 4 築城	戦国大名は、分国法の中で家臣が勝手に城を建てる「築城」を厳しく制限しました。これは、家臣が勝手に防御拠点を築いて独立したり、反乱を起こしたりすることを未然に防ぐためです。
問16	答え 3 分国法	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。家臣同士の争いを禁じる「喧嘩両成敗」や、土地に関する紛争のルール、納税の決まりなどが記載されていました。